

平成 30 年 10 月 29 日

経済産業省製造産業局金属課 殿

一般社団法人 特殊鋼倶楽部



## 未来志向型の取引慣行に向けて「世耕プラン」に関する要望

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当倶楽部に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

経済産業省で取り組んでおられる未来志向型の取引慣行に向けた「世耕プラン」につきましては、サプライチェーン全体にわたる取引環境の改善に向けた取り組みとして、当業界としても高く評価し期待しているところであります。

しかしながら、鉄鋼加工メーカー等と特殊鋼最終ユーザーとの関係において、適正取引ガイドラインに抵触する恐れがある問題が、依然として継続している懸念があります。

当倶楽部会員は、特殊鋼の製造業者及び販売業者から構成されておりますが、多数の加工業者も含めた、サプライチェーン全体での取引条件改善が図られないと、日本特殊鋼のものづくりの競争力が維持・発展できなくなることを懸念しております。

かかる観点から、平成 29 年 11 月 30 日に、当倶楽部から貴課に、特殊鋼に関連するサプライチェーン全体での取引適正化に向けて、要望させて頂きましたが、今般、改めて下記を要望致します。

敬具

### 記

価格決定方法の適正化問題（合理的な説明のない価格低減要請の禁止、原材料価格・エネルギーコストや労務費上昇の取引価格への反映）の改善及び実態調査

- (1) 適正化ガイドラインの再徹底
- (2) 自主行動計画の実態調査（ヒアリング、Gメン配置強化）
  - ・ 自動車メーカー、部品メーカー（Tier1、Tier2、Tier3）
  - ・ 中小規模の企業における取引実態調査
- (3) 不適切事例の指導・改善

以上